



SERVICE INFO

エンジン停止時に発生する金属音の診断に関する情報

メーカー： フィアット、オペル、サーブ、スズキ、ボクスホール

型式：

フィアット： Grande Punto、Sedici
 オペル： Astra H、Signum、Vectra C、Zafira
 サーブ： 9-3
 スズキ： SX4
 ボクスホール： Astra MK V、Signum、Vectra MK II、Zafira MK II

年式： 2004年～

エンジン：

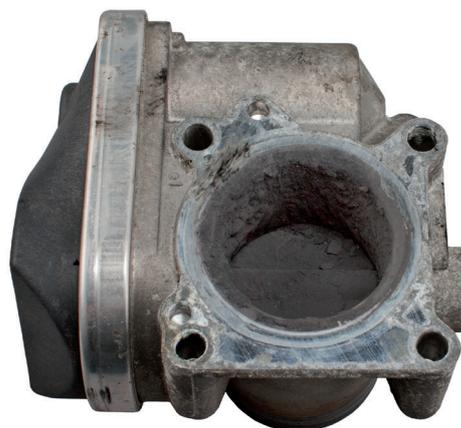
フィアット： 1.9 D
 オペル： 1.9 CDTI
 サーブ： 1.9 TiD
 スズキ： 1.9 DDiS
 ボクスホール： 1.9 CDTI

DMF 部品番号： 415 0241 10

上記の自動車のエンジンの停止時に、ギアボックスおよびデュアルマスフライホイール (DMF) でノイズが発生することがあります。

これらのノイズの一般的な原因は、吸気ポートのスロットルバルブの異常です。この異常により、シリンダーの圧力が均等に低下せず、クランクシャフトの回転動作が不均一になることがあります。その結果発生するねじり振動がほぼ減衰なしでギアボックスに伝達され、金属音が発生する原因になります。

ほとんどの場合、これらのノイズはDMFの異常と誤解されますが、DMFを交換してもノイズが解消されないことが多くあります。



画像 1：スロットルハウジングの汚れの除去が必要

したがって、以下のプロセスを推奨します。

- ・エンジン制御ユニットのエラーメモリを読み取り、異常を修正します。
- ・スロットルバルブの目視点検および機能テストを実施します (スロットルバルブはエンジン停止時に完全に閉じる必要があります)。
- ・スロットルバルブの動作範囲内に堆積しているすすをすべて取り除きます。

スロットルが正常に動作しているにもかかわらず、エンジン停止時に金属音が引き続き発生する場合でも、DMFの交換は、入念な検査を行った上で慎重に判断してください。

DMFの故障診断の詳細については、LuKのデュアルマスフライホイールのカタログを参照してください。

自動車メーカーの仕様を順守してください！

スペアパーツおよび技術情報については、以下を参照してください。
www.schaeffler-aftermarket.com または www.RepXpert.com

